



ベビーキャリーEX Baby Carry EX



販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

製造輸入元・お客様相談窓口

株式会社 **シーエー産商**

0120-034-017

受付時間 AM10:00～12:00・PM1:00～PM5:00（内線回一斉電話 ※弊社休日は除く）
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

PM1002-2025-05



ベビーキャリーEX Baby Carry EX

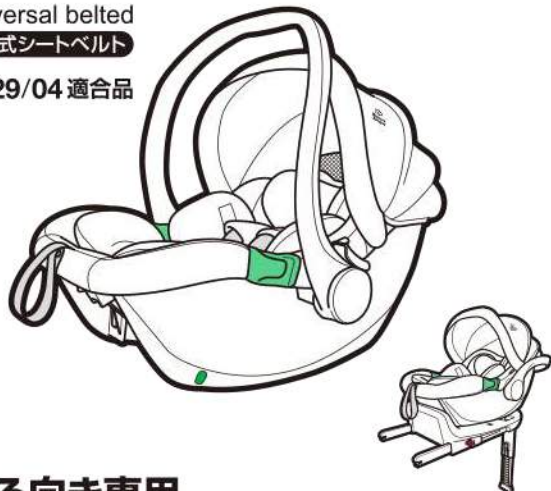
取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しく取り付けてご使用ください。

Universal belted

3点式シートベルト

R129/04 適合品



※本体（別売）とセットしたイメージ

後ろ向き専用

本装置は、身長**40～87cm**までのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

目次

■ご使用になる前に	2
梱包内容／ご利用にあたって	2
本装置について／お使いいただけるお子様の目安	3
■本装置の使い方	4
■取り付けできる座席	5
取り付けできない座席	5
■使用できるシートベルト	6
取り付けできないシートベルト	6
■安全にご使用いただくために	7
■各部の名称	11
■取り付ける前のご注意	13
■各部の使い方	14
バックル・タンク	14
肩ベルト	15
ヘッドサポート	16
ハンドル	17
サンシェード	18
インナークッション・ヘッドクッション	19
■お子様の乗せ方・降ろし方	20
お子様の乗せ方	20
お子様の降ろし方	21
■3点式シートベルトで取り付ける	22
取り付け方	22
取り外し方	23
■取り付け後の安全チェック	24
■ベビーキャリアとして使用する	25
■ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する	26
■専用ベース(別売)への取り付け方・取り外し方	27
取り付け方・取り外し方	27
■お手入れのしかた カバー類の取り外し方	28
■保証規定／保証書	30

ご使用になる前に

ご使用の前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

SAベビーキャリア-EX 梱包内容

本装置を3点式シートベルトで
取り付けて使用します。

取扱説明書

〈サイズ〉 W430×D670×H270mm

〈重 量〉 3.2kg



本装置

SAベビーキャリア-EX専用ベース(別売)

本装置を専用ベース
(ISOFIX+サポートレグ)に
取り付けて使用します。

取扱説明書

〈サイズ〉 W360×D505×H150mm

〈重 量〉 3.6kg



ベース

ISOFIXガイドキャップ

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて
下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき、
本装置をご使用ください。



警告

事故につながるため、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。



注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/04)*に適合しており、身長が40～87cmまでのお子様を対象とした、R129(i-Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

*UN ECE R129は、従来の安全基準「UNECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社ホームページ(QRコード)をご覧ください。



本装置は、3点式シートベルトが装備されている車両に装着できますが、3点式シートベルトが装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず車両の「取扱説明書」をご確認ください。

本装置に専用ベース(別売)を取り付けて使用する場合は、ISOFIX取付金具が装備されてサポートレグが接地する座席に装着できますが、車種によっては適合しない場合がありますので、必ず車両の「取扱説明書」をご確認ください。

●エアバッグの装備されている座席には取り付けできません。(サイドエアバッグを除く)

ご不明な点は、お買い求めになった販売店または弊社「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

お使いいただけるお子様の目安

本装置は、次の条件をみたとお子様にご使用いただけます。

本装置の使用可能な範囲は、安全規格(UN ECE R129/04)の規定である、お子様の身長を基準に使用範囲を定めています。この範囲にあてはまらない場合は、使用しないでください。また、この範囲はチャイルドシートだけではなく、ベビーキャリア、ロッキングチェア、ベビーチェアにおいても共通です。

適応身長

40cm以上87cm未満のお子様

体重/月齢の目安 2.5kg以上13kg未満のお子様/新生児～15ヵ月未満

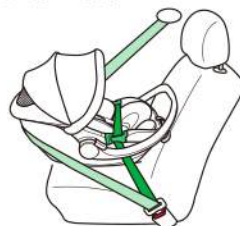
本装置の使い方

チャイルドシートとして使用できるほか、ロッキングチェア、ベビーキャリア、ベビーチェアとしてもご使用いただけます。

チャイルドシートとして使用

〈P18～P24〉

- 本装置を車両の3点式シートベルトで取り付けて使用する。



専用ベース(別売)に取り付けて

チャイルドシートとして使用

〈P27〉

- 本装置を専用ベース(ISOFIX)に取り付けて使用する。



ベビーキャリアとして使用

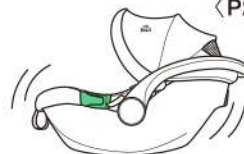
〈P25〉

- ハンドルのポジションを変えて使用する。



ロッキングチェアとして使用

〈P26〉



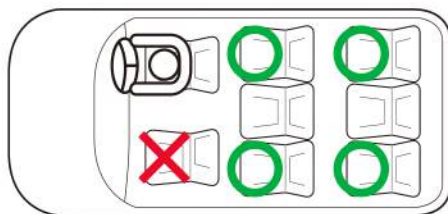
ベビーチェアとして使用

〈P26〉



取り付けできる座席

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



○取り付け可能 ×取り付け不可

取り付けできない座席

- 3点式シートベルトが装備されていない座席。
- 前席背面から、後席ヘッドレストの首部分の空間が狭い座席。
- フロントエアバッグを装着している座席(助手席)。
- 座面の奥行きが40cm以下の座席。座面の幅が32cm以下の座席。
- シートベルトの長さが極端に短い座席。(2.3m以下の場合)
- ベビーキャリーのベルト通しより、前にシートベルトが出ている座席。
- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、妨げになる座席。



使用できるシートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。

(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)

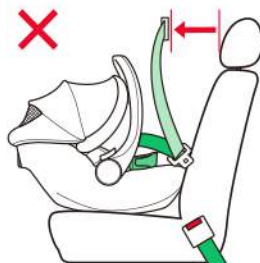
3点式シートベルトの種類

○ELR緊急ロック式 〈巻き取り機能付〉	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
○ALR/ELR 〈チャイルドシート固定機能付〉	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなり、すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
×その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の「取扱説明書」をご確認ください。

取り付けできないシートベルト

- 肩ベルトの出口が座席より前にある(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります)。
- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも10cm以上前に出ている。
- 受け側のバックルベルトの長さが15cm以上ある(車両のバックルやタングが本装置とあたり、しっかり締め付けができません)。



安全にお使いいただくために

⚠ 警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

車両の進行方向に対して、必ず「後ろ向き」で使用してください。

- 本装置は「取扱説明書」通りに取り付けてください。
- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は危険ですので絶対にしないでください。
- 本装置の肩ベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。お子様が脱落したり肩ベルトが首に巻きついて窒息するおそれがありますので、正しい長さに調節してからご使用ください。



- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないか確認してからご使用ください。
- 本装置のバックルを外した状態でのご使用は危険ですので、絶対にしないでください。
- 取り付け・取り外しの際は、本装置の可動部や金属部に手や指等を入れたり、挟まないように十分注意しておこなってください。

- お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



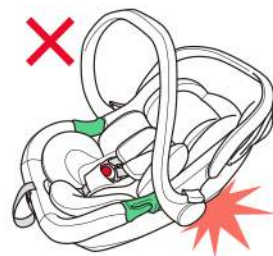
- 本製品にお子様を乗せて持ち運ぶときは、ハンドルがベビーキャリーポジションで固定されていることを確認してください。

- お子様の負担を考えて、1時間以上連続して使用しないでください。

- 車両の座席シートの材質・形状によっては、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートの間に、保護シート等を敷いてご使用ください。

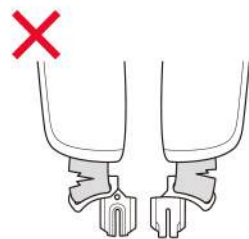
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。また、他のものと交換しないでください。

- 落下や衝突等により本装置が衝撃を受けた場合、外観に異常がなくても破損のおそれがありますので使用しないでください。



- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。

- 車両のシートベルトや本装置の肩ベルトが傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



安全にお使いいただくために



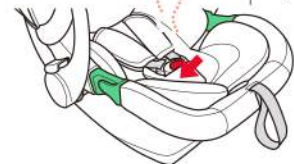
記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

●使用するポジションにハンドルを調節し、固定されていることを確認してからご使用ください。

●走行する前に本装置が確実に取り付けられているか、必ず確認してからご使用ください。

●本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態では決して使用しないでください。

●炎天下での駐車時には、金属部分や樹脂部分などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際には、各部に触れて、熱くなっていないか確認した上でご使用ください。



●本装置を取り付ける際、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。

●本装置のベルトは、お子様の体格や服装などに合わせて、乗車の都度、調節をしてください。

●本装置のバックルや可動部分に、飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、動きが悪くなるおそれがあります。



●お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がった、り、中腰にさせないようにしてください。

●可動座席または車両のドアに、本装置の剛性部分(プラスチック部分等)を挟まないでください。

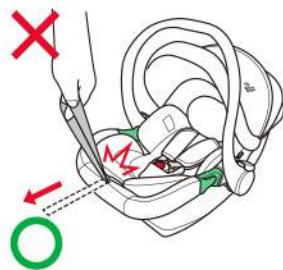
●車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。

●本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。



●本装置に重いものを載せないでください。

●肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。



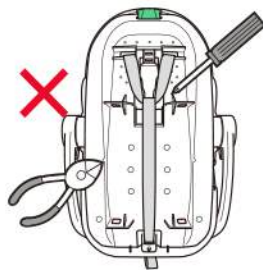
●車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください(保護マットは除く)。



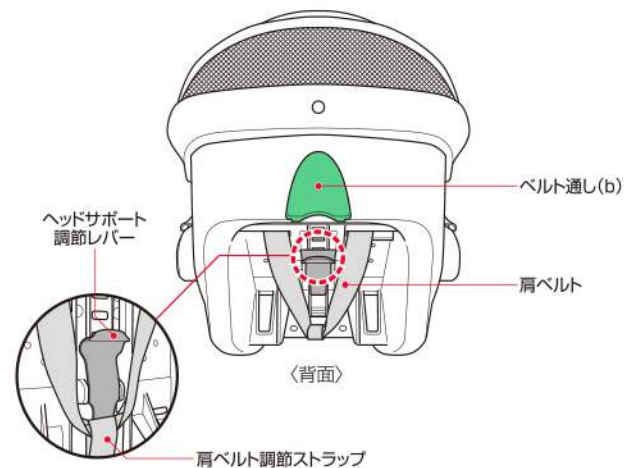
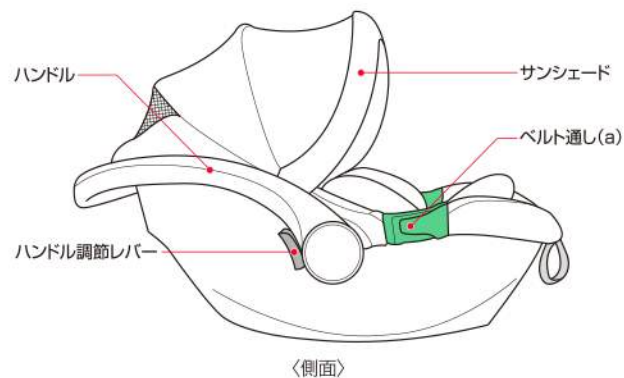
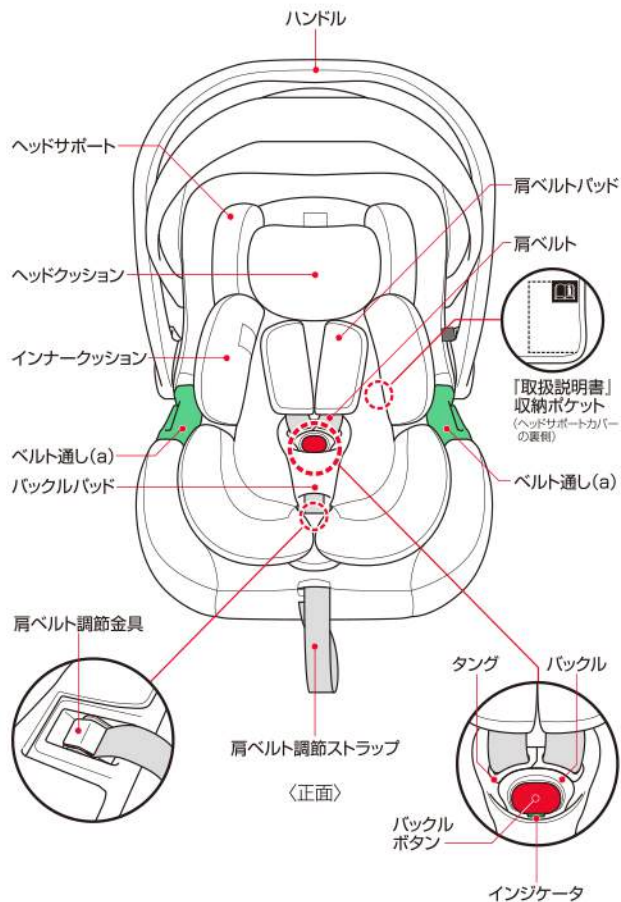
●定期的に本装置に異常がないか、確認をしてください。

●本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

●改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



各部の名称

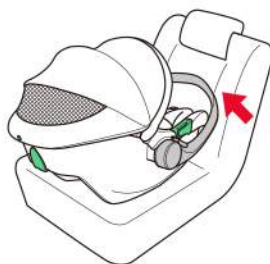


取り付ける前のご注意

- 本装置は、後ろ向き専用です。
前向きでの取り付けはできません。

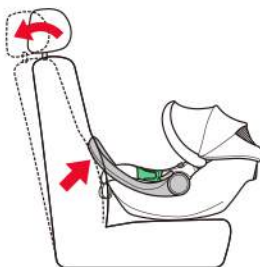


- ハンドルの位置は、車両のシートの背もたれの方向(チャイルドシートポジション①)に調節してください。
(P16「ハンドルの使い方」参照)



- 本体が車両のシートの背もたれと座面に接するように、設置してください。

※本体が車両のシートの背もたれに接地しない場合、シートの背もたれがリクライニングできる車両の場合は、背もたれをリクライニングさせて調節してください。

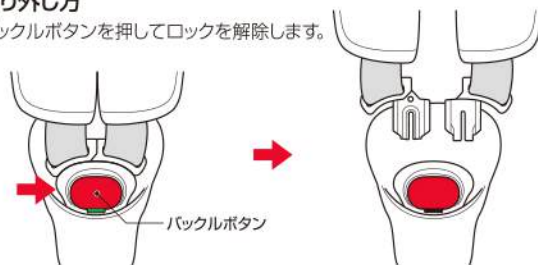


各部の使い方

バックル・タング

●取り外し方

バックルボタンを押してロックを解除します。



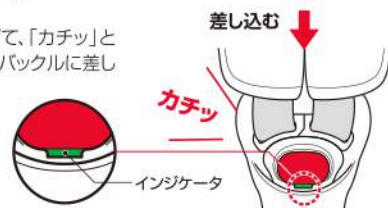
●取り付け方

タングを上下に重ね合えます。



バックルパッドを下げて、「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込みます。

ロックすると緑色のインジケータが表示されます。



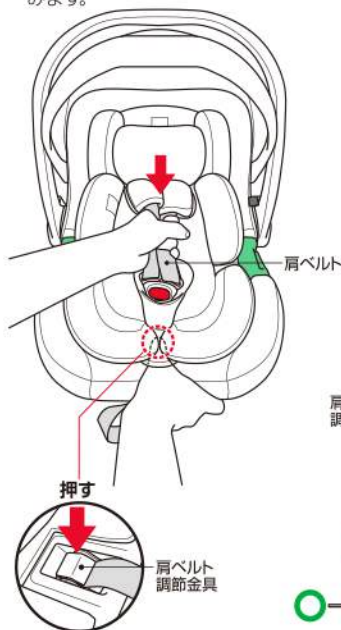
バックルが正しく固定されていないと、使用中に急にバックルが外れ、お子様が本装置から飛び出したり、落下するなどの重大な事故につながるおそれがあります。※緑色のインジケータが表示していることを確認してください。バックルに異常がある場合は決して使用しないでください。また、バックルの中にゴミや食べかすが入らないように、使用しない時でもバックルは、タングを差し込んで固定してください。

各部の使い方

肩ベルト

●肩ベルトを緩める

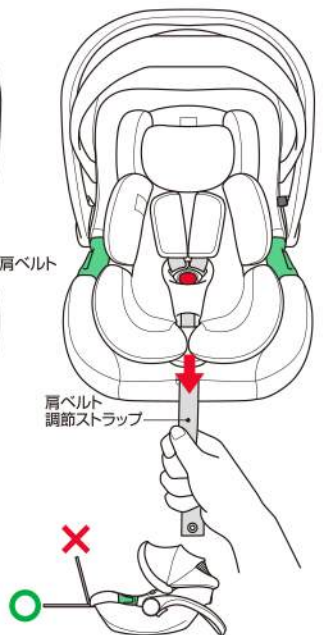
カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが緩みます。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、肩ベルトを同時に引き出してください。

●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを手前に引くと、肩ベルトが締まります。

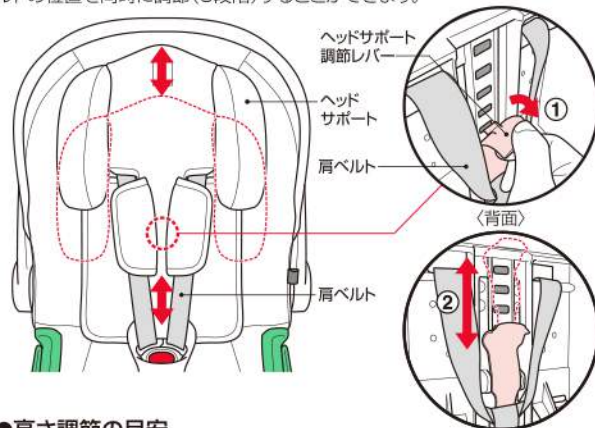


注意 肩ベルト調節ストラップを上につけると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。

ヘッドサポート調節レバー(肩ベルト連動)

肩ベルトを緩めます。(P15参照)

ヘッドサポート調節レバーを手前に引いて溝から外し、ヘッドサポートと肩ベルトの位置を同時に調節(5段階)することができます。



●高さ調節の目安

お子様の頭よりやや低い位置に調節してください。

お子様の頭よりヘッドサポート・肩ベルトが上になる場合は、肩の位置に最も近い位置に調節してください。

低すぎる



適正



高すぎる



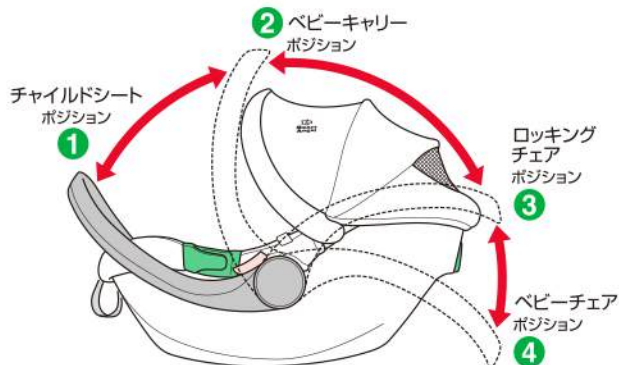
警告

肩ベルトの高さがお子様の身体に合っていないと、衝撃が加わった時に肩ベルトが外れ、お子様を保護できません。

各部の使い方

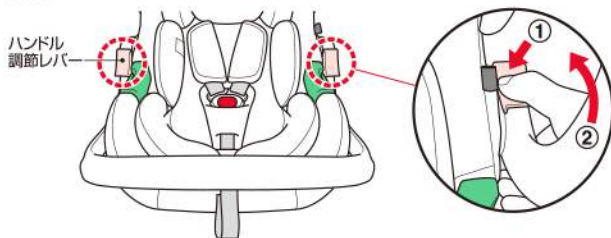
ハンドル

ハンドルは、4つのポジションで使用することができます。



ハンドルの付け根にあるハンドル調節レバー(左右)を同時に押しながら、ハンドルを使用するポジションに回転させます。

ハンドルは任意のポジション(①～④)まで回転させると、「カチッ」と音がして固定されます。固定されると押し込んだハンドル調節レバーは元の位置に戻ります。



ハンドルを回転させる際に、お子様の手や指を挟まないように注意してください。ハンドルを固定しないままにしておくと、思わぬ事故につながるおそれがありますので、必ず固定された状態でご使用ください。

サンシェード

●使い方

スナップボタンは、必ず付けた状態でご使用ください。

※開閉具合は、状況に合わせて調節してください。

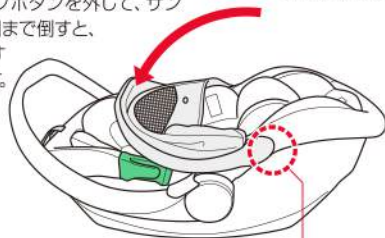


●取り外し方

背面のスナップボタンを外して、サンシェードを下図まで倒すと、簡単に取り外すことができます。



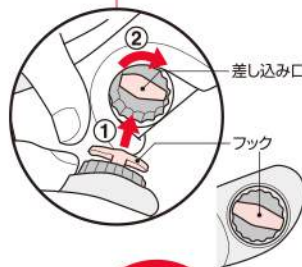
手前に倒し過ぎると、スナップボタンが外れてしまうのでご注意ください。(使用時)



●取り付け方

①サンシェードのフックと、本体の差し込み口の向きを合わせて左右同時に差し込み、②上方向に回転させます。

サンシェードを引き上げ、背面のスナップボタンで固定します。



取り付け・取り外しの際は、指を挟まないように十分注意してください。

各部の使い方

インナークッション・ヘッドクッション

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表：ニット生地（柔らかい肌触りです）
裏：メッシュ生地（通気性に優れています）

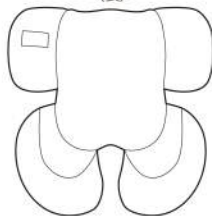
●インナークッション

〈ご使用期間の目安〉

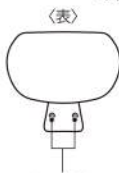
身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッションを付けてご使用ください。

取り外してよい条件は、身長が76cm以上（6か月頃）で腰と首がすわっていること。

インナークッション
〈表〉



ヘッドクッション
〈表〉



スナップボタン

〈裏〉



ウレタン

●ヘッドクッション

ヘッドクッションは、インナークッションにスナップボタンを取り付けてご使用ください。



注意

ヘッドクッションは、リバーシブルではありません。使用時は付け替えてください。

補足

肩ベルトがきつい場合は、三角パッド（インナークッション裏側）を抜き取ってご使用ください。



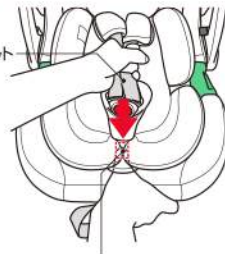
三角パッド

お子様の乗せ方・降ろし方

お子様の乗せ方

1

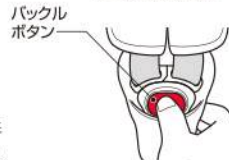
本体カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引いて肩ベルトを緩めます。



肩ベルト調節金具

2

バックルボタンを押してロックを解除します。

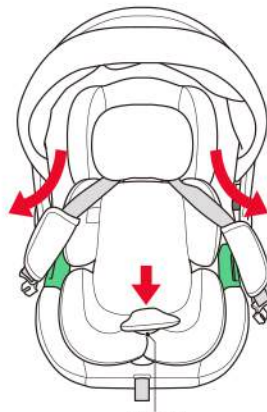
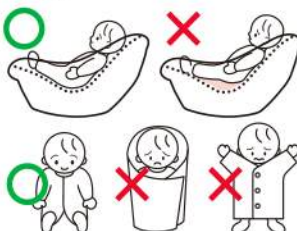


バックルボタン

3

左右の肩ベルトを開き、バックルも手前に倒して、お子様を乗せるスペースを確保します。

●お子様は、本装置に深く乗せてください。



バックル



警告

おくるみなど手足の出ない衣類や、過度の重ね着で使用しないでください。

お子様の乗せ方・降ろし方

お子様の乗せ方

4

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。

左右のタングを合わせ、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

5

肩ベルトパッドとお子様の肩の間に指1本が入る程度を目安に、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引いて肩ベルトを締めます。



警告

バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、肩ベルト調節ストラップは、勢いよく引っ張らないでください。

補足

肩ベルトがきつい場合は、ヘッドサポートの高さ(P15参照)や、三角パッド(インナークッション裏側)を抜き取って調節してください。

お子様の降ろし方

車両の腰ベルトを、左右のベルト通し(a)から取り外します。肩ベルト調節金具を押し、肩ベルトを緩め、バックルボタンを押してロックを解除します。お子様の腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子様を降ろしてください。



警告

肩ベルトがお子様の腕に引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりと降ろすようにしてください。



注意

お子様を乗せ降ろするたびに、肩ベルトの高さが適正かどうか確認し、必要に応じて調節してください。

3点式シートベルトで取り付ける

取り付け方

ハンドルをベビーキャリーポジション ハンドル

②(P16参照)にして設置します。

1

車両のシートベルトを引き出し、車両の腰ベルトを本装置の両サイドにある「ベルト通し(a)」に通します。

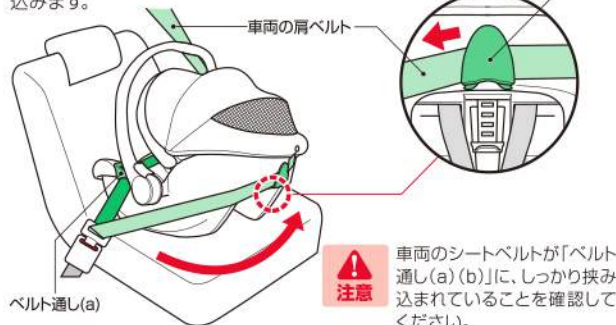
2

車両のシートベルトのタングを、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

カチッ

3

車両の肩ベルトを、本装置の背面にある「ベルト通し(b)」に上から挟み込みます。



注意

車両のシートベルトが「ベルト通し(a) (b)」に、しっかり挟み込まれていることを確認してください。

3点式シートベルトで取り付ける

取り付け方

●設置角度の目安

車両のフロア（水平）に対して本装置の背もたれの角度が $45^{\circ}\pm 5^{\circ}$ になっていること。この角度を超えて起こした姿勢では、呼吸がしづらい場合がありますので角度に注意して設置してください。

※調節できない場合は、ご使用いただけませんのでご注意ください。



4

車両の腰ベルト・肩ベルトの順に引っ張って、車両のシートベルトにたるみがないように固定してください。



車両のシートベルトに、ねじれができないように取り付けてください。

5

ハンドルをチャイルドシートポジション①にし（P16参照）、本装置の上部を軽く前後に揺すり、ぐらつきがないか確認してください。



取り外し方

1

ハンドルを上げます。
車両のバックルから、
タンクを解除します。

2

車両の肩ベルトを、ベ
ルト通し(b)から取り外
します。

3

左右のベルト通し(a)
から、車両の腰ベルト
を取り外します。

取り付け後の安全チェック

取り付けが完了したら、本装置がしっかりと取り付けられているか
下記の項目にチェック☑してください。

車両のシートベルトに
ねじれやたるみがないこと。

肩ベルトが正しく調節
されていること。

本装置のタンクがバックルに
確実にセットされていること。

ハンドルがチャイルドシート
ポジションにセットされていること。

車両のタンクがバックルに
確実にセットされていること。

車両のシートベルトが
ベルト通し(a)(b)に
確実に通っていること。

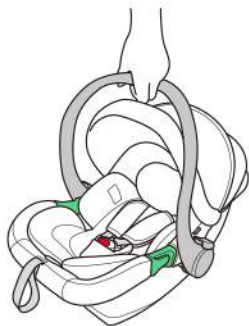
車両のフロア（水平）に対して本装置の
背もたれの角度が $45^{\circ}\pm 5^{\circ}$ になっていること。
※調節できない場合は、ご使用いただけませんので
ご注意ください。

車両の背もたれに
本装置の本体が、すき間
なく接していること。

ベビーキャリーとして使用する

本装置のハンドルをベビーキャリーポジション(P17参照)にして、お子様を乗せたまま移動することができます。

●ハンドルを立てた状態で 本装置を持つ



●ハンドルを手でしっかり握って もう一方の手で本装置を持つ



⚠ 警告

- ハンドルは、確実に固定してください。ハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子様に強い負担がかかるばかりでなく、お子様が本装置から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 本装置を持ち上げる際は、必ずハンドルをベビーキャリーポジションにして持つようにしてください。ハンドルを持たずに持ち上げると、バランスを崩して本装置が落下するおそれがあります。
- お子様が落下したり、重大な事故につながるおそれがありますので、本装置を大きく振ったり揺すったりしないでください。
- 使用しないときでも、安定しない場所や高所に置かないでください。

⚠ 注意

- お子様を乗せるときは、チャイルドシートとして使用する場合と同様に、必ずタンク・バックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。
- 階段・坂道や段差のある場所では、十分注意してご使用ください。
- テーブルや椅子の上など、不安定な場所に置いて使用しないでください。
- ハンドルを肩にかけて本装置を持ち運ばないでください。

ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する

P17「ハンドルの使い方」を参照して、それぞれのポジションにしてご使用いただけます。

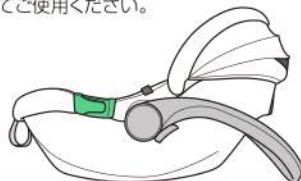
●ロッキングチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。ゆっくりとやさしく前後に揺らしてください。



●ベビーチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。そのまま椅子としてご使用ください。



⚠ 警告

- 本装置の使用中は、決してお子様を放置しないでください。常に大人の方が付き添い、お子様の様子を確認してください。
- 安定しない場所や階段、ドア・窓などの近くでは使用しないでください。重大な事故につながるおそれがあります。また、冷暖房など風が直接あたる場所で使用しないでください。

⚠ 注意

- お子様を乗せるときは、チャイルドシートとして使用する場合と同様に、必ずタンク・バックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。
- お子様が乗り物酔いと同様に、気分が悪くなるおそれがありますので、長時間にわたる連続使用は避けてください。また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後や食事直後の使用は避けてください。

専用ベース(別売)への取り付け方・取り外し方

本装置を専用ベース(ISOFIX)に取り付けてご使用いただけます。
専用ベースへの取り付け方・取り外し方は、ここでは簡単に記載しております。
ご使用の際は、専用ベースの「取扱説明書」をご確認ください。

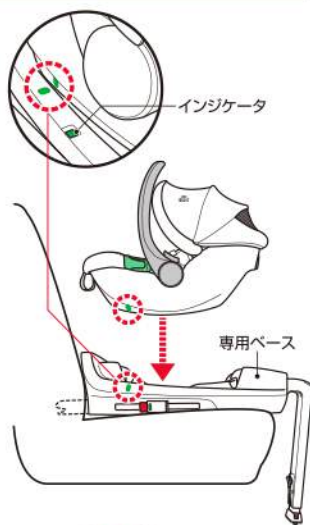
取り付け方・取り外し方

●取り付け方

本装置と専用ベースのガイドマーク
●を合わせて取り付けます。

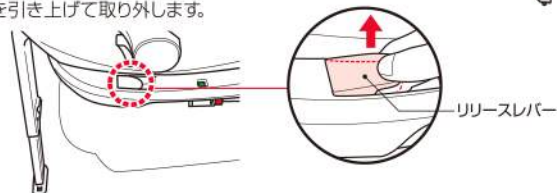
ロックするとインジケータが、赤色
から緑色に変わります。

本装置のハンドルを、チャイルドシート
ポジションにセットします。
(P17参照)



●取り外し方

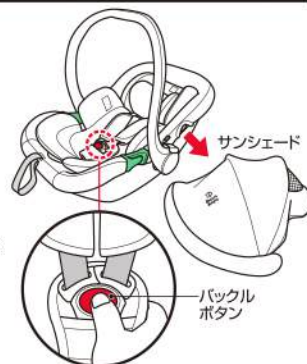
リリースレバーを引き上げると、ロッ
クは解除されます。
本体を引き上げて取り外します。



お手入れのしかた

カバー類の取り外し方

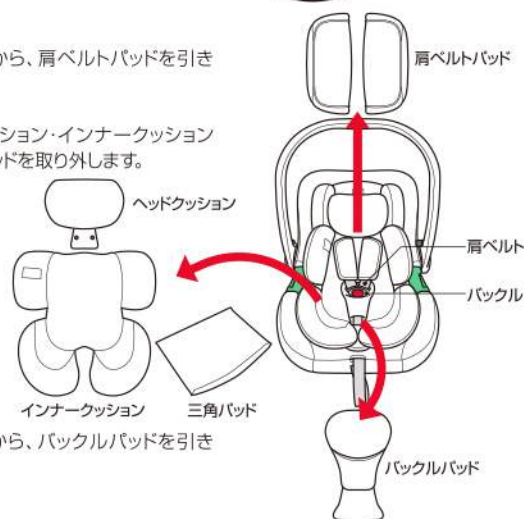
- 1
サンシェードを取り外します。
(P18参照)



- 2
バックルボタンを押してロックを解除
します。

- 3
肩ベルトから、肩ベルトパッドを引き
抜きます。

ヘッドクッション・インナークッション
と三角パッドを取り外します。



バックルから、バックルパッドを引き
抜きます。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し方

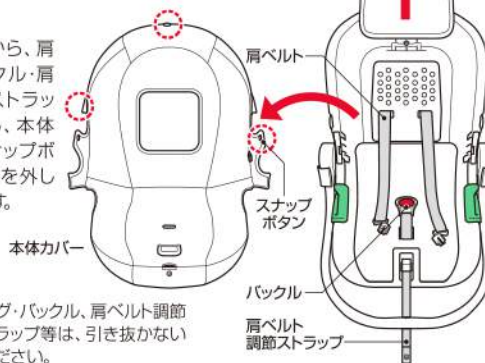
4

ヘッドサポートカバーを引き抜きます。



5

本体カバーから、肩ベルト・バックル・肩ベルト調節ストラップを取り外し、本体カバーのスナップボタン(3カ所)を外して取り外します。



タンク・バックル、肩ベルト調節ストラップ等は、引き抜かないでください。

〈カバー・パッド・クッション〉

	液温は30℃を限界とし、手洗いしてください。		ドライクリーニングはできません。
	塩素系および酸素系漂白剤は、使用できません。		日陰でつり干してください。
	アイロンがけはできません。	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は、短時間でおこなってください。 強く絞ると、シワが残ることがあります。	

〈本体・ベルト・バックル等〉

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。 ●風通しのよい日陰で干してください。
- バックル・タンクに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取ってください。
- ※しっかり乾いてからご使用ください。

本装置のパッド類や部品を紛失・破損しご購入を希望される場合は、裏表紙に記載の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
 - ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
 - ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。 ● ご使用にともなう傷やぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。 ● 有償修理時に要する発送料。
 - 一般家庭以外で、業務などによって使用された故障した場合。 ● 部品の紛失。
 - 保証書およびレシート、または販売証明書のご提示がない場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
 - ④ 原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
 - ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
 - ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
 - ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
 - ⑧ ご鑑賞、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
 - ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
 - ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- ※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなっている場合等、すでに修理対応ができない製品につきましても修理は終了したかたにわたることがあります。
- ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
- ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちに記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	SA ベビーキャリアEX			
お買い上げ年月日	年	月	日	故障内容記入欄
保証期間	お買い上げ日より1年間			
お客様名	TEL			
ご住所				
販売店名	TEL			
住所				
店				

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- 品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。